

参加者募集中

くらべてみよう、
体験しよう、
今と昔の米づくり

6月田植え 10月稲刈り
2回の体験セット

日帰り

 **大人 8,000円**
小人 5,000円

(大人：中学生以上 小人：小学生以下となります)
2歳以下のお子様についてはバスの座席と昼食がない場合に限り無料

日程 田植え：平成21年 6月20日(土)
稲刈り：平成21年10月10日(土)

場所 埼玉県熊谷市池上
古宮神社と近接圃場

参加対象者 3歳以上～中学生以下
のお子様とその保護者
(成人/親子に限られません)

募集人数 80名
(大型貸切バス2台・ガイド無)
※定員になり次第締め切らせていただきます

持参物 軍手・雨具・タオル
健康保健証(写可)

10月 稲刈り



くわって白いご飯になるのかな？
実際に脱穀・もみすりをしてみよう。
手筒暇かけた昔の米つくりを体験。

力強く実り、ゆれる稲穂は日本の原風景
昔ながらの鎌で稲穂を刈り、収穫します
稲穂一束がお茶碗一杯のごはん
だから昔からお米を大切に育てたんだ

埼玉 田んぼ学校

お米はどこから来たのか。
どうして僕たちはお米を食べるのか。
なぜか知らないことばかり
田んぼ学校で勉強してみよう！
実際にお米を作ってみよう！

6月 田植え



初夏のさわやかな
風に吹かれながら
昔ながらの手植えを体験
裸足で泥に入ったことある？
思ったよりもすごく気持ちいいよ
げんごろうや
小さな苗を手でしっかりと
根付かせると
大変だけど
すごく楽しい

開校



早乙女募集




赤と白の配色が
鮮やか
早乙女衣装を着たい
女の子集まれ
先着五人が体験
できるよ。
※身長一四〇センチ以上の
女の子に限ります。

参加者全員にお土産付き！



収穫したお米を
おひとり **2Kg**

後日発送・送料別途ご負担

事業主催 /  助成 財団法人国民精神研修財団
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-10
電話03-5775-1145 FAX03-3475-5805

特別協力/日本財団
協力/JA<まがや・古宮神社
埼玉県神社庁・神社本庁

旅行企画・実施/株式会社農協観光首都圏支店
グリーンツーリズム事業課



田んぼ学校で伝統の米づくり体験



田植え

苗の持ち方、しっかり根付く植え方など昔ながらの田植えに、日本人が長く培ってきた稲作の文化と工夫があります。田んぼに張られたロープを目印に苗をひとつひとつ植えていきます。どろんこになりながら一列で協力しながら植えますよ。



古宮神社

神社が鎮座する熊谷市池上は弥生時代中期に水耕が始まったと言われており、今でも荒川の伏流水に恵まれた地域です。神社は長寛2年(1164年)建立と古く、その由緒から古宮神社と名付けられ地域の総鎮守として親しまれています。



稲刈り

6月に植えた小さな苗が、黄金色の稲穂に。田んぼ一面に実った稲穂は感動的です。鎌を使っての収穫作業は地元農家の方とスタッフが指導・お手伝いします。刈り取った稲穂は藁で束ねて干します。胸一杯に抱えたり重たい稲束に収穫の喜びが湧き上がります。

田植え

JR横浜駅 7:00発
JR新宿駅 8:00発
JR上野駅 8:00発
横浜発は途中新宿経由
車中オリエンテーション

- 古宮神社着
- ①開校式
- ②豊作祈願祭
- ③お米のお話(講話)
- ④昼食
- ⑤田植え体験
- ⑥田植機デモンストレーション
- ⑦お米クイズ大会
- ⑧閉校式

ほかにもお楽しみがあるかも

JR上野駅 17:00着予定
JR新宿駅 17:00着予定
JR横浜駅 18:00着予定

稲刈り

JR横浜駅 7:00発
JR新宿駅 8:00発
JR上野駅 8:00発
横浜発は途中新宿経由
車中オリエンテーション

- 古宮神社着
- ①オリエンテーション
- ②稲刈り体験
- ③束ね
- ④はざかけ体験
- ⑤コンバインデモンストレーション
- ⑥昼食・餅つき大会
- ⑦脱穀・もみすり 精米疑似体験
- ⑧豊作感謝祭
- ⑨閉校式

JR上野駅 17:00着予定
JR新宿駅 17:00着予定
JR横浜駅 18:00着予定



お米のお話

古宮神社司宮 茂木貞純先生
(國學院大學神道文化学部教授)

田んぼ学校の本『いただきます』を教科書に、日本人はなんでお米を食べてきたのか、お米づくりから何を学んできたのか。わかりやすくお話しします。



豊作祈願祭

植えた苗が大きく育つように神様にお祈りします。豊作を祈る祝詞(のりと)が捧げられ、おかしからつづいている神聖な行事である田植え体験を行います。神社での正しい参拝作法や玉串の捧げ方なども学びます。また、神様へ神饌(しんせん)をお供えする体験もします。



早乙女体験

早乙女募集

田植の日に苗を植える女性のことを早乙女(さおとめ)と呼びます。神様に奉仕する役でもあります。おかしから田植えの際はハレ着を着た早乙女が最初に田植えをして豊作を願いました。

身長140cm以上の女の子・限定5人募集します
※田植えのみ

お祭りのお手伝い



※田植え・稲刈り各6人募集します
(男女不問)



保護者の方へ

「田んぼ学校」は、「稲作」体験を通して日本人がどうしてお米を食べてきたのか、お米はどのような植物なのか、その歴史から植物学的な面からもアプローチして「日本人とお米」を再発見する学校として毎年開催しています。近年お米の国民一人あたりの年間消費量は減少を続けるなど、稲作の将来は危うくなっています。私たちが子どもたちに残したいもの。その一つに「稲作」があります。そして、「稲作」を通して培ってきた日本人の心も守っていききたい。それが、わたしたちの役目と思っています。



餅つき

おかしから日本人は、神様のお祭りや、めでたい日にお餅を作り、お祝いをしてきました。豊作に感謝しながら、餅つきを通して伝統的な日本の食文化を体験してください。



豊作感謝祭

みんなの願いを書いた絵馬も奉納するよ

豊作感謝のお祭りをします。みんなが収穫した稲穂を神様にお供えて、稲が無事に生長したことを感謝し、みんなが豊かに暮らせるようにお祈りします。お米をつくる楽しさといつくしお米の伝統文化を心と体で満喫してください。

早乙女・お祭りのお手伝いを希望される方は申込み時にスタッフに伝えてください
(注意事項) コース表に記載されている時間は目安であり、交通事情や天候で変更になる場合があります。写真はイメージです。

■食事条件: 昼1回 ■最少催行人員: 35名 ■添乗員: 出発地より同行し、旅程管理業務を行います。 ■ご参加のお客様には、旅行当日アンケートにご協力頂きます。 ■旅行代金に含まれるもの: 行程表に表示の往復交通費、昼食代(田植え・稲刈り各1回)、各種イベント費用。 ■受付: 2名様から受け付けます。 ■この旅行には取引条件書に記載の特別保障保険が付保されています。なお、各様のご要望によって、別途、任意の保険をお申込み頂くことも出来ます。詳細は専用パンフレットをご覧ください。 ■その他の事項につきましては、当旅行業約款によります。

旅行企画・実施



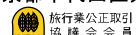
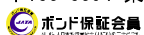
TOUR

観光庁長官登録旅行業第939号

株式会社農協観光

首都圏支店グリーンツーリズム事業課
総合旅行業務取扱管理者 船橋洋彦

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-1 J Aビル4 F



お問い合わせ・お申込は

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申し込下さい。

TEL03-6665-0007 FAX03-6665-0012

http://ntour.jp E-mail:green@ntour.co.jp

営業時間9:00~17:30(土・日曜、祝日除く)

(株)農協観光首都圏支店グリーンツーリズム事業課

総合旅行業務管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業店での取引責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記総合旅行業務管理者にご質問ください。